

# 広報わっさむ 町民のみなさんと共に歩んで 700号

昭和25年5月に「和寒村報」として発行を開始して以来63年間、多くのかたの協力をいただきながら、町民のみなさんと町政をつなぐ架け橋の役割を果たしてきた「広報わっさむ」がこの3月号で700号を迎えました。

これまでの広報誌の変遷をたどりながら600号発行以降の和寒町の歩みについて振り返ってみたい。なお、過去の広報誌は、町立図書館で閲覧することができますので、お気軽にお声かけください。

## 広報の歩み

町が現在、毎月発行している「広報わっさむ」は、昭和25年5月1日発行の「和寒村報」に始まります。その後、昭和27年には「和寒町報」となり、昭和28年には「町のあゆみ」にタイトルが変わりました。

スタイルは第46号まではタブロイド型（新聞二つ折りの大きさ）でしたが、昭和33年8月からはB5週刊誌型に変わり、平成6年4月の第473号からは現在のA4型になり、文字を大きく、写真を多く掲載できるようになり、より読みやすい広報誌へと変わりました。

←第8号 昭和25年12月発行  
タブロイド型両面印刷で発行されました。

この年の和寒町  
永山農業高等学校和寒分校（和寒高等学校の前身）が開校、西和14線までバスの運行開始、旭川一名寄線開通



昭和25年頃の和寒駅（左）と大通り（右）

## 和寒町の歩み (六〇〇号以降のニュース)

平成17年

剣淵町・和寒町合併協議会の廃止。中和小学校、北原小学校閉校。塩狩温泉旅館。第3次行政改革大綱策定。

平成18年

町長選挙 伊藤昭宣氏初当選。名誉町民藤井辰夫氏。学校給食開始。宇北町バス待合所開設。高齢者共同福祉住宅「かたくり荘」オープン。北原交流展示館(旧北原小学校)オープン。

平成19年

行政改革により公共料金・使用料・手数料改正。町有施設の有料化スタート。移住体験事業はじまる。スクールバスの運行開始。町立病院院外処方へ移行。

平成20年

自治基本条例制定。12自治会へ移行。芳生苑、健康苑、体育施設、三笠山自然公園指定管理者制度導入。後期高齢者医療制度開始。

平成21年

わっさむ110年記念事業を実施。和寒小学校改築。和寒小学校体

# 節目の広報誌

**300号** 昭和54年11月発行



西和小学校にて草履作り

B 5週刊誌型 8ページ

当時、歩け歩け運動が年間10回行われており、延471名の町民が参加した様子が伝えられました。

特別環境保全公共下水道整備事業着手、町営と畜場廃止、特別養護老人ホーム「芳生苑」増築、ひまわり保育所完成

この年の和寒町

**200号** 昭和46年5月発行



地方統一選挙の開票時の役場前

B 5週刊誌型 8ページ

地方統一選挙の結果が掲載されました。また、和寒町総合計画が策定され、10年後の“新しい和寒町づくり”がスタートしました。

東陵小学校廃校、電話ダイヤル化、町営バス運行（東和・中和線）、三和小プール完成、西和小改築完成

この年の和寒町

**100号** 昭和38年1月発行



喜びの寒川橋渡橋式

B 5週刊誌型10ページ

昭和37年の建設事業が紹介されています。また、この頃の広報誌には「芋五郎君」という4コマ漫画が掲載されていました。

市街地区簡易水道各戸給水始まる、北原、三和地区開拓水道完成、国設塩狩スキー場開設

この年の和寒町

**600号** 平成16年11月発行



パンキンコンフェスティバル  
ランタンコンテスト

A 4週刊誌型12ページ二色刷り発行600号を記念して特集が組まれ、400号以降の和寒町の歩みについて紹介されました。

剣淵町・和寒町合併協議会の設置。三和小学校閉校。町営球場オープン。台風18号被害

この年の和寒町

**500号** 平成8年7月発行



保育所運動会

A 4週刊誌型10ページ二色刷りカメラアイ・ハローベイビーなどの掲載が始まり、現在まで続いている企画が見られます。

福原小学校休校、全日本玉入れ選手権開催、農業活性化センター「農想塾」オープン

この年の和寒町

**400号** 昭和63年3月発行



第37回全国高校スキー大会  
2年連続優勝

B 5週刊誌型 8ページ発行400号記念特集が生まれ、創刊以降、和寒の歴史を振り返る記事が紹介されました。

第12回世界ジュニア軟式庭球選手権大会和寒テニス少年団個人、団体戦ともに3位、防犯の町宣言、JR和寒駅新築、産業会館完成

この年の和寒町

**平成24年**  
災害時非常持ち出し品配付。テレビ北海道(TVh)和寒中継局開局。パスポート受付業務開始。学校跡地に表示板設置。保育所耐震等改修。広域鳥獣焼却施設着工。木質バイオマス燃料熱源供給施設及び熱源供給施設着工。

**平成23年**  
第5次和寒町総合計画策定。和寒中学校移転。総合庁舎大規模改修工事。お客さま窓口開設。コミュニティFM札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」放送開始。大雨被害対策本部設置。町立病院増築改修。

**平成22年**  
町長選挙伊藤昭宣氏再選。加藤大平選手オリピック出場(複合団体6位入賞)。地域新エネルギービジョン策定。道立和寒高等学校閉校。自治基本条例施行。子育て支援センター「こども館」オープン。

育館完成。加藤大平選手ノルディック世界選手権複合団体で金メダル。加藤大平選手町栄誉賞受賞。札幌自由が丘学園三和高校開校。新型インフルエンザ大流行。